

# バランスシートを公表します

市では、昭和44年度以降の決算統計調査のデータを基に、総務省が発表した作成方法により、平成17年度末現在の普通会計のバランスシートを作成しましたので、その概要をお知らせします。

なお、本市の場合、おおむね一般会計が対象となり、病院や上・下水道などの企業会計と国民健康保険事業などの特別会計は含まれません。

問い合わせ先 財政課 (☎23)5111内線171)

## 【バランスシートによる財務分析】

財産を意味する資産の合計は、約1,085億円、市民1人当たり約1,592千円となっています。また、将来支払うべき債務を意味する負債の合計は、約404億円、市民1人当たり約59万2千円となっています。

資産の内訳では、土地や建物を中心とした有形固定資産が約931億円で約86%を占めており、この有形固定資産を行政目的別に見ると、土木費と教育費で約71%を占め、道路、小・中学校などの整備による資産形成が高いことが分かります。

また、資産と負債の差引きである「正味資産」は約681億円で、資産総額の約63%に当たります。これは、これまでの世代による負担が約63%、将来の世代への負担が約37%であることを示しています。

## 平成17年度決算に基づくバランスシート(平成18年3月31日現在、単位:千円、千円未満は四捨五入)(カッコ内は市民1人当たりの金額です)

借 方		貸 方	
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
1. 有形固定資産		1. 固定負債	
(1) 総務費	12,881,778 (189)	(1) 市債	33,600,717 (493)
(2) 民生費	2,104,185 (31)	(2) 債務負担行為	
(3) 衛生費	541,176 (8)	① 物件の購入等	0 (0)
(4) 労働費	309,135 (5)	② 債務保証又は損失補償	0 (0)
(5) 農林水産業費	8,597,005 (126)	債務負担行為計	0 (0)
(6) 商工費	821,280 (12)	(3) 退職給与引当金	3,571,659 (52)
(7) 土木費	44,276,078 (649)	(4) その他	159,661 (2)
(8) 消防費	896,167 (13)	(退職手当組合積立金)	
(9) 教育費	21,476,588 (315)	固定負債合計	37,332,037 (547)
(10) その他	1,159,264 (17)	2. 流動負債	
有形固定資産合計	93,062,656 (1,365)	(1) 翌年度償還予定額	3,045,953 (45)
(うち土地	25,146,347 ) (369)	(2) 翌年度繰上充用金	0 (0)
2. 投資等		流動負債合計	3,045,953 (45)
(1) 投資及び出資金	7,592,134 (111)	負債合計	40,377,990 (592)
(2) 貸付金	207,368 (3)		
(3) 基金		<b>【正味資産の部】</b>	
① 特定目的基金	2,143,014 (31)	1. 国庫支出金	11,191,870 (164)
② 土地開発基金	404,267 (6)	2. 県支出金	8,599,175 (126)
③ 定額運用基金	35,959 (1)	3. 一般財源等	48,355,431 (710)
基金計	2,583,240 (38)	正味資産合計	68,146,476 (1,000)
(4) 退職手当組合積立金	0 (0)	負債・正味資産	
投資等合計	10,382,742 (152)	計	108,524,466 (1,592)
3. 流動資産			
(1) 現金・預金			
① 財政調整基金	1,563,652 (23)		
② 減債基金	1,834,262 (27)		
③ 歳計現金	749,750 (11)		
現金・預金計	4,147,664 (61)		
(2) 未収金			
① 地方税	907,474 (13)		
② その他	23,930 (1)		
未収金計	931,404 (14)		
流動資産合計	5,079,068 (75)		
資産合計	108,524,466 (1,592)		

(十和田市の人口…68,171人(平成18年3月31日現在)で計算)

※債務負担行為にかかる補償など

「債務負担行為とは」

複数年にわたって支払いが行われるもの

①物件の購入などにかかるもの 35,146 千円(本表に計上したものを除く)

②債務保証又は損失補償にかかるもの 20,000 千円(本表に計上したものを除く)

③利子補給などにかかるもの 528,506 千円